

(2) 地域別の体系

- 川崎・横浜地域圏
- 三浦半島地域圏
- 県央地域圏
- 湘南地域圏
- 県西地域圏

「地域別の体系」は、「基本構想」に示した「地域づくりの基本方向」に沿って、交通基盤や都市整備、地域産業の活性化、安全・安心の確保などの分野を中心に、主要施策のうち地域で展開するものを5つの地域政策圏ごとに体系化したものです。

各地域の特性に沿った施策体系表と、都市整備などを中心に事業箇所を示した地域図、主な事業などを示しています。また、健康・福祉、教育・子育てなど各地域共通に取り組む施策のうち、新たな展開を図るものなどについては、「その他の主な取組み」として示しています。

川崎・横浜地域圏

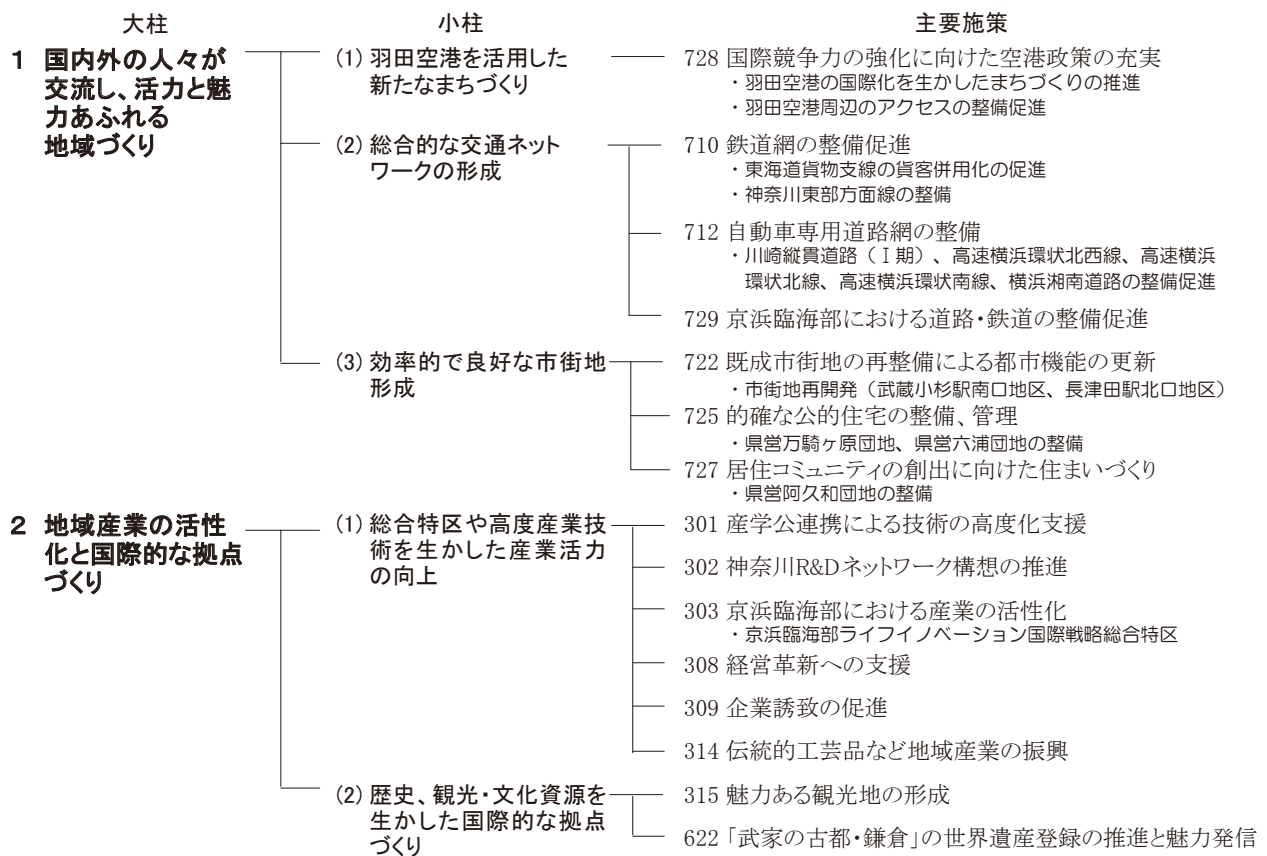
川崎・横浜地域は、高度先端産業や数多くの研究開発機関が集積する川崎市域と開港都市として国際性豊かな歴史や文化を有する横浜市域、及びその周辺の地域からなる地域です。

そこで、これまでの文化や産業の集積を生かした生活環境や生産環境の整備を進め、良好な環境が保全され、にぎわいや活力があふれ、世界とつながる文化や産業を発信し、国際性豊かで魅力ある地域づくりをめざして、国際競争力の強化に向けた空港政策の充実、総合特区制度を活用した京浜臨海部における産業の活性化、土砂災害防止施設などの整備、都市のみどりの保全と活用などに取り組みます。

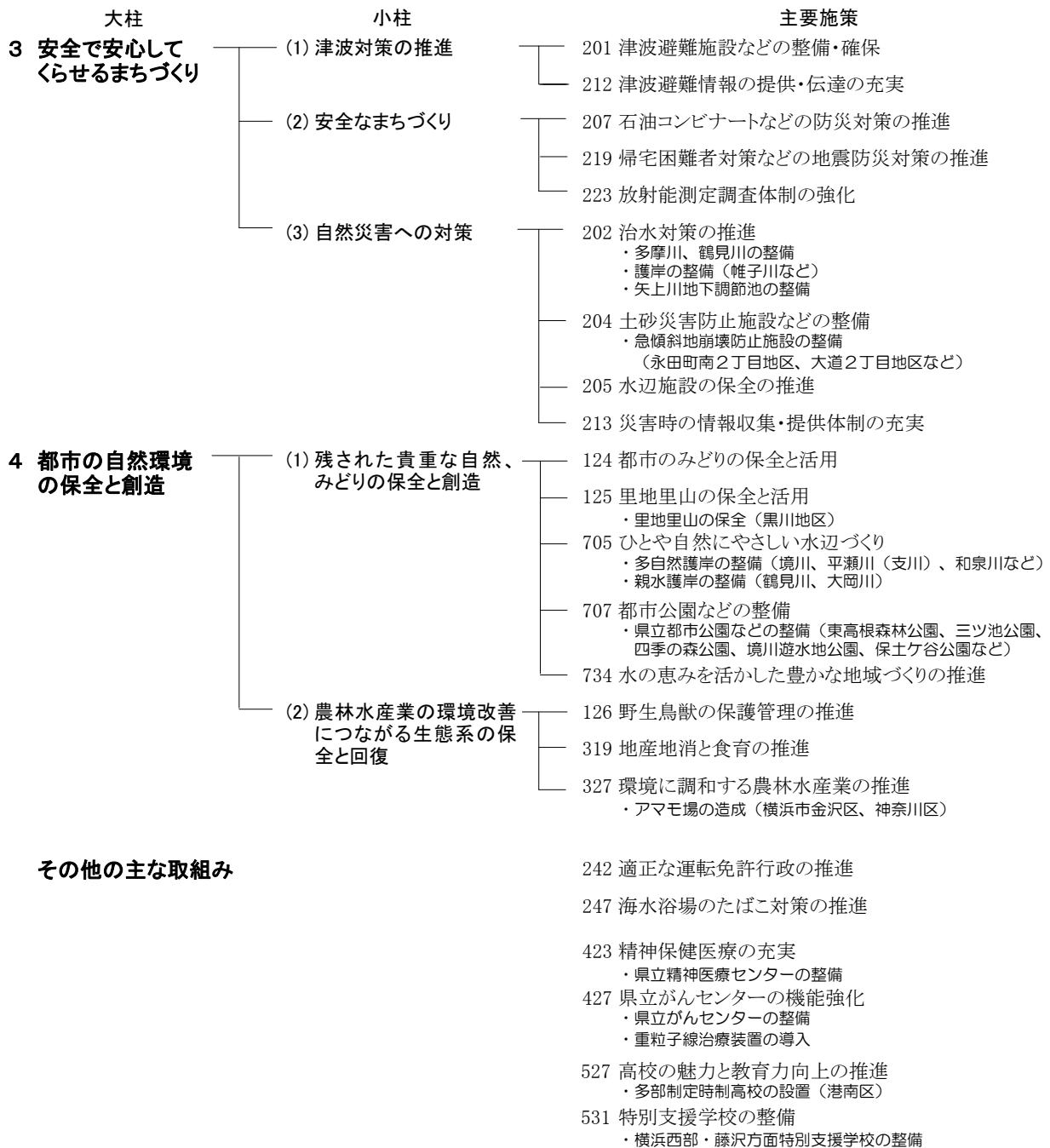


川崎、横浜の各市域、及びその周辺地域

施策体系表



※ 都市基盤の整備などの事業については、各地域の事業内容を主要施策ごとに示すとともに、地域図にその事業実施箇所を示しています。



主 な 事 業

1. 羽田空港の国際化を生かしたまちづくりの推進

羽田空港の国際化により、国内各地や海外との間で、人やもの・情報などの交流が活発化するなど、神奈川への様々な波及効果が期待されています。

こうした中で、総合特区制度を活用し、空港の対岸地域に国際化に対応した新たな交流拠点の形成を進め、京浜臨海部はもとより、県経済全体の活性化につなげていきます。



2. 都市公園の整備

みどりの減少が著しい都市部では、みどりの創出や防災上の観点からみどりの拠点整備が求められています。

そこで、様々なレクリエーション活動に利用されるとともに災害時には必要な機能を発揮する、快適で安全な魅力ある都市公園の整備を進めていきます。



3. 県立がんセンターと県立精神医療センターの整備

がん患者の増加や精神科医療の充実など新たな医療ニーズへの対応が求められています。

そこで、最先端のがん治療を行うために県立がんセンターの整備（2013年11月開院予定）を進めるとともに、重粒子線治療装置（2015年治療開始予定）を導入し、また、県立精神医療センターの整備（2014年度開院予定）を行い、高度専門医療の提供を通じた県民の安心確保に努めます。



4. 横浜西部・藤沢方面特別支援学校の整備

県内の特別支援学校を希望する障害のある児童・生徒は年々増加しており、今後も年200～300人規模での増加が見込まれています。

そのため、横浜西部・藤沢地域にある元横浜市立小学校を活用した県立特別支援学校の整備（2013年度開校）を進め、特別支援学校の過大規模化への対応と児童・生徒への教育機会の確保に努めます。



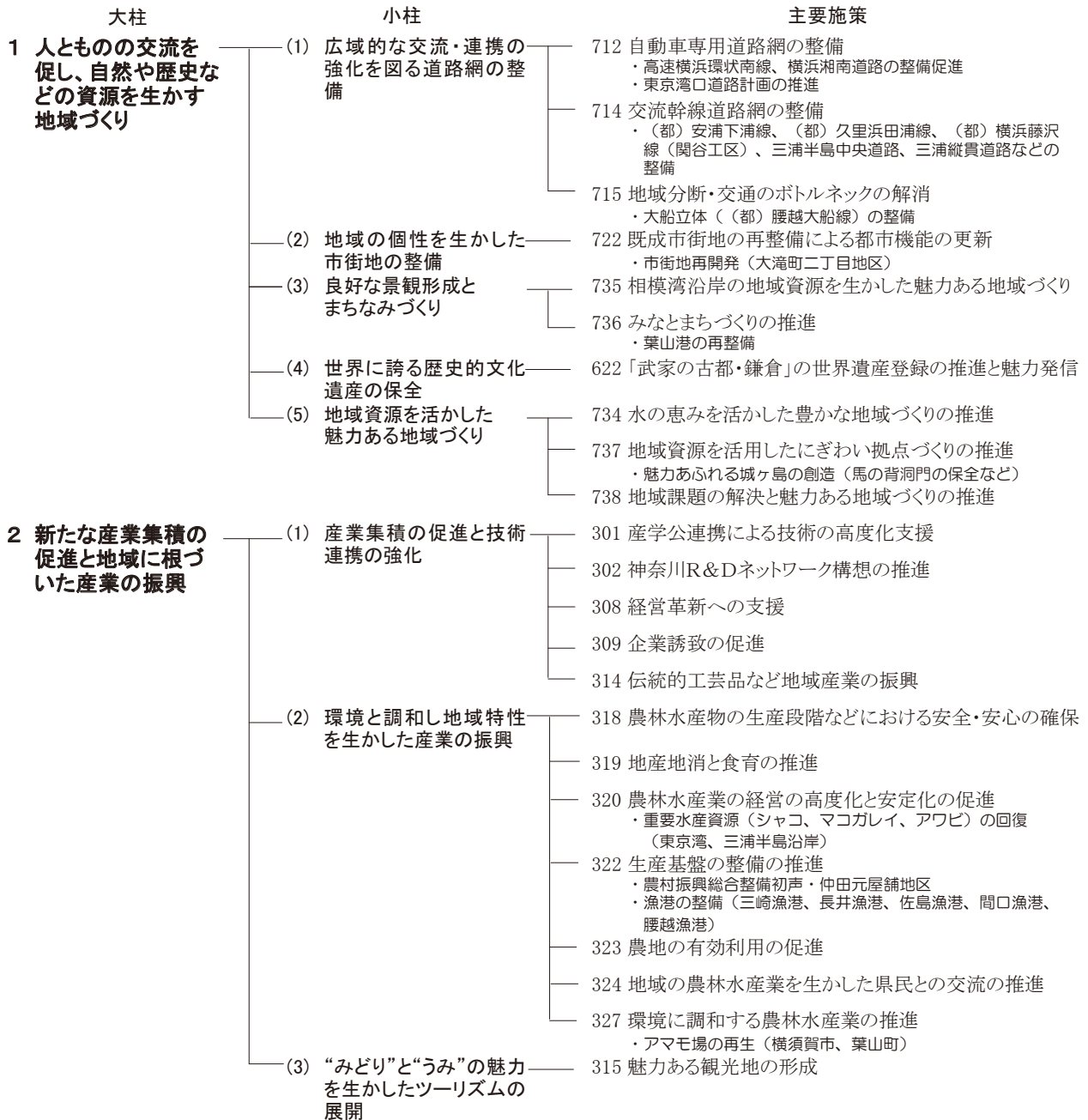
三浦半島地域圏

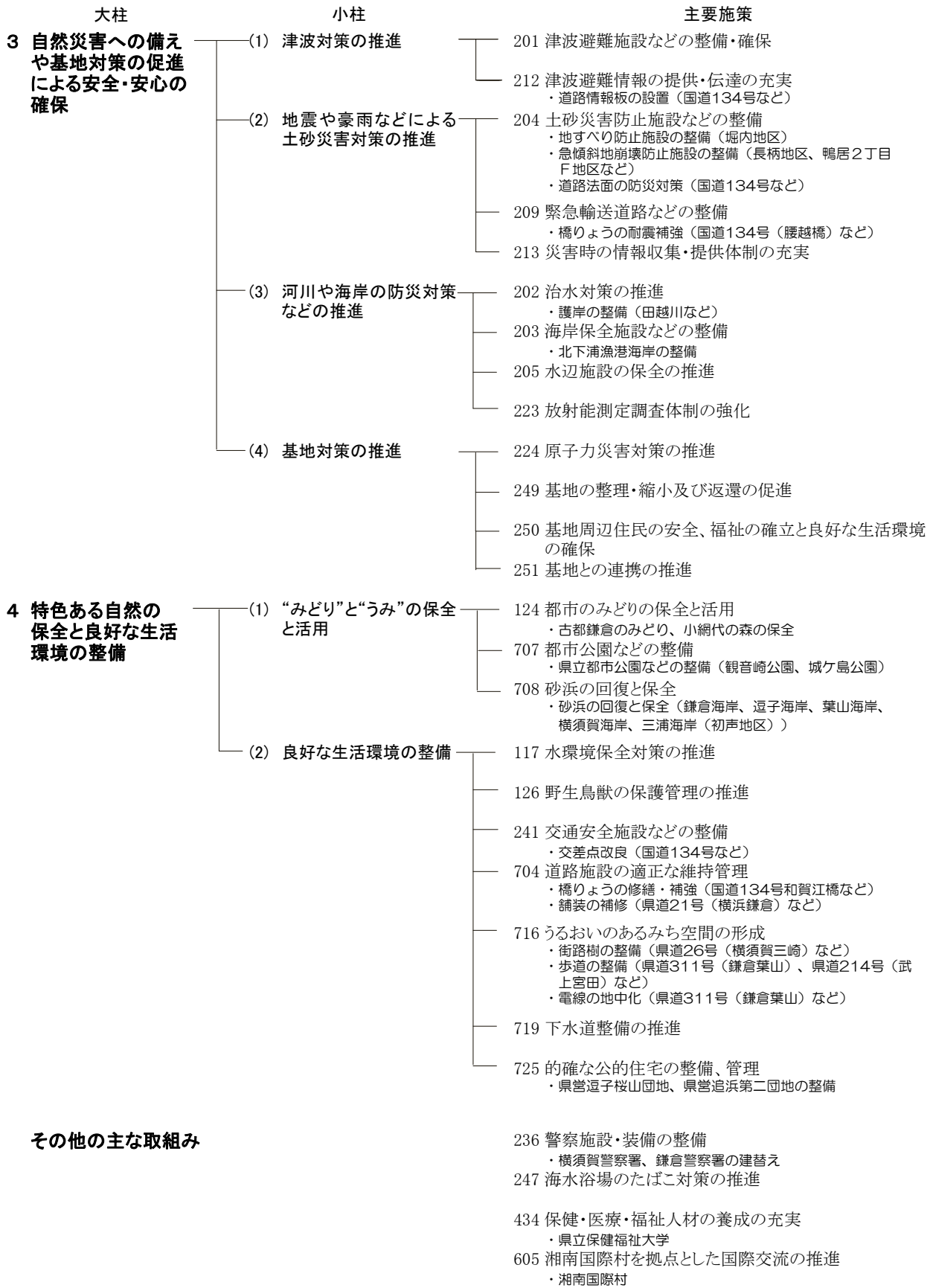
三浦半島地域は、三方を海に囲まれ、変化に富んだ海岸線を有し、多摩丘陵から続く、まとまったみどりや豊かな歴史と伝統に恵まれた地域です。

そこで、貴重な自然、歴史的文化遺産、美しい景観など、三浦半島がもつ地域資源の保全・活用により、うるおいをもって快適にさせるようにするとともに、首都圏、海外から多くの人々が訪れ、楽しめる「公園」のような魅力と活力にあふれる地域づくりをめざして、「武家の古都・鎌倉」の世界遺産登録の推進と活用、生産基盤の整備の推進、海岸保全施設の整備、都市のみどりの保全と活用などに取り組みます。



施策体系表





地域図



【凡例】

- 事業箇所・内容
- 道路等整備
- 計画路線
- 道路
- 鉄道

主 な 事 業

1. 三浦縦貫道路Ⅱ期の整備

三浦半島地域は、地形などの制約から幹線道路が少なく、慢性的な交通渋滞が発生していることから、広域的な幹線道路網の整備を進めています。

三浦縦貫道路のⅡ期区間については、供用済みのⅠ期区間に続く約1.9kmを先行整備区間として整備しており、渋滞解消や広域的な交通利便性の向上を図るとともに、観光振興などによる地域の活性化につなげていきます。



2. 「武家の古都・鎌倉」の世界遺産登録の推進

鎌倉は、日本で初めての幕府が開かれ、後の日本文化に大きな影響を与えた武家文化が生み出された地であることから、世界遺産への登録を実現するとともに、貴重な文化遺産を守りながら後世に伝えるしくみづくりを進め、「武家の古都・鎌倉」の魅力を内外に発信します。



3. 県立保健福祉大学などの取組み

横須賀市にある県立保健福祉大学及び大学院では、市民参加のもとコミュニティ形成に参加する開かれた大学とするため、地域に根ざした教育的資源を有効に活用し、地域や関係団体との連携による人材の養成や健康増進に役立つ食などの研究、公開講座の開催などの取組みを進めます。



4. 小網代の森の保全

三浦半島にある小網代の森は、森林、湿地、干潟及び海が自然の状態で連続的にまとまった集水域（流域）が残されており、首都圏で唯一ともいえる貴重な自然環境を有しています。

そこで、環境学習のフィールドとして活用するための園路などの整備や定期的な巡視など適切な管理などを行うことで、小網代の森の良好な自然環境の保全と活用を図ります。



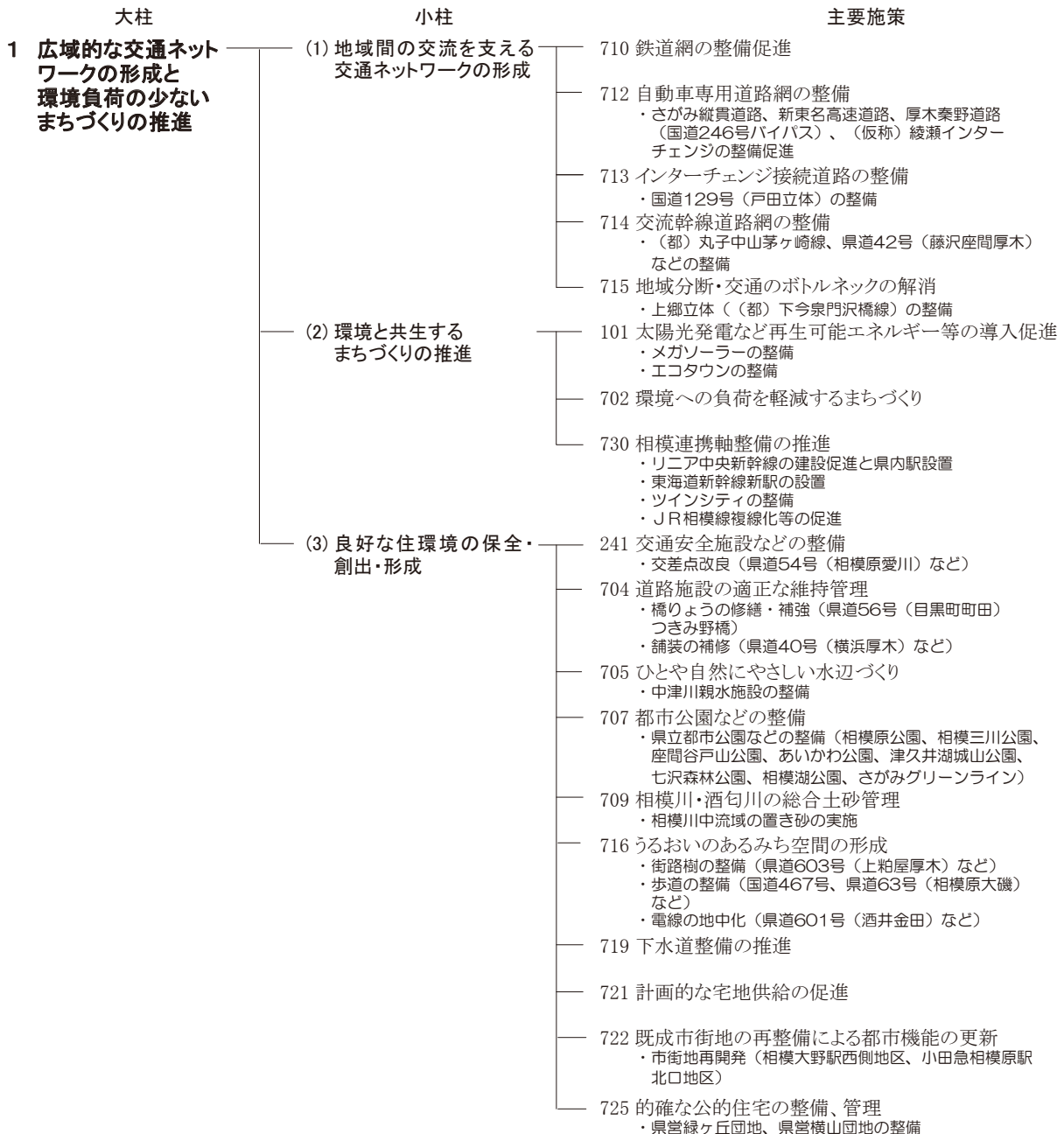
県央地域圏

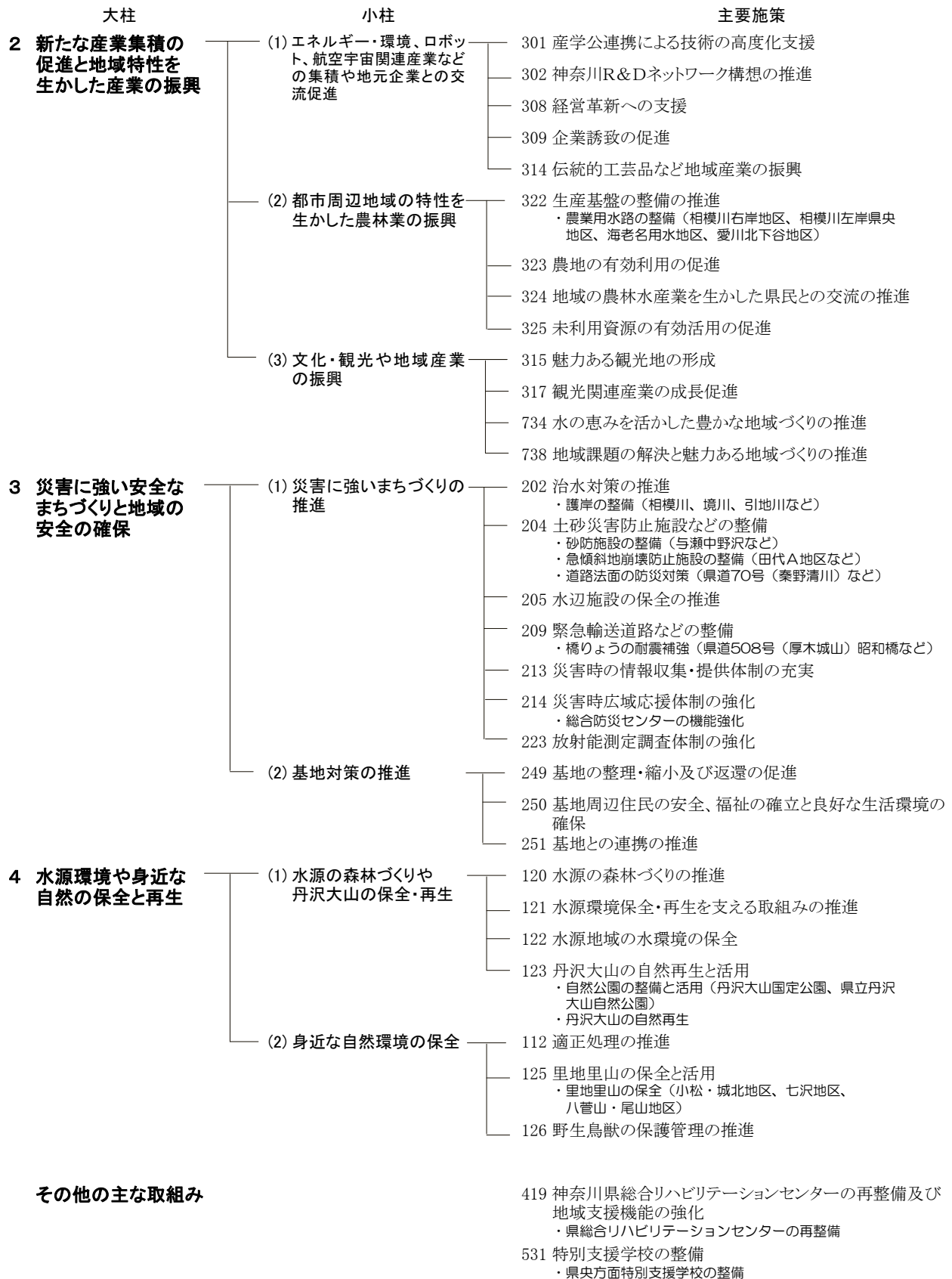
県央地域は相模川や、やまなみ・湖などの自然と、活気ある都市とが共存し、道路や鉄道が結節する交通の要衝となっている地域です。

そこで、水源地域の豊かな自然を守り、これを活用した地域の魅力づくりと活性化を進めるとともに、こうした自然と都市、産業が調和し、うるおいと活力にあふれた地域づくりをめざして、自動車専用道路網の整備、エネルギー・環境、ロボット、航空宇宙分野など地域の特性を生かした産業の振興、治水対策の推進、丹沢大山の自然再生などに取り組みます。



施策体系表





主 な 事 業

1. さがみ縦貫道路の整備促進

さがみ縦貫道路は、2010年2月に東名高速道路と接続する海老名ジャンクションから海老名インターチェンジの1.9kmが完成し、交通の利便性が向上するなどその効果が発揮されており、引き続き、全線の開通に大きな期待が寄せられています。

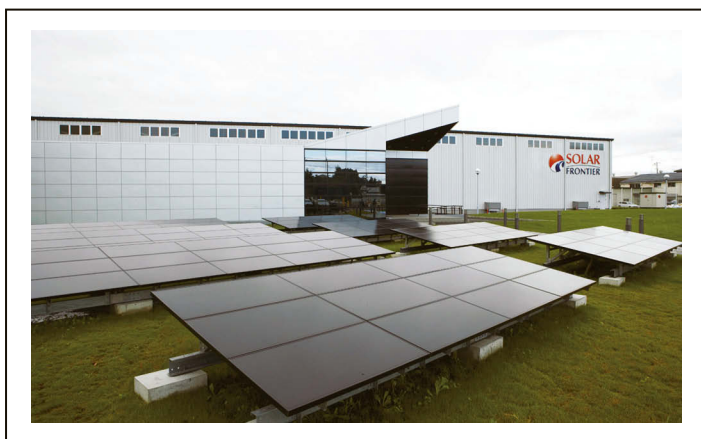
そこで、国への働きかけなどにより、早期完成に向けた取組みを進め、交通の利便性の向上や県の南北方向の交流連携強化による新たな産業活力の創出につなげていきます。



2. エネルギー・環境関連企業の誘致

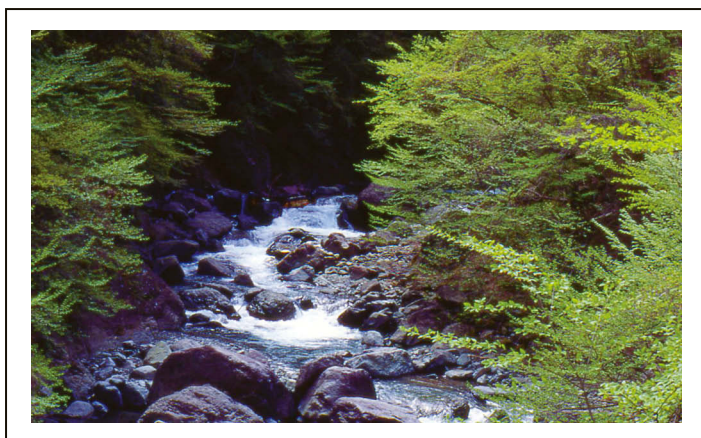
県央地域は、幹線道路や鉄道路線が集中する交通の要衝地域として発展し、さがみ縦貫道路の整備も進んでいます。

こうした交通ネットワークを生かし、再生可能エネルギーの普及にあわせてエネルギー・環境関連企業の誘致、新たな企業の創出や既存企業の参入促進などの集積促進に取り組めます。



3. 水源環境の保全と再生

水源の森林エリア（ダム水源などを保全する上で重要な県内の森林の区域）では、森林の荒廃や上流域における生活排水対策の遅れなどがみられることから、個人県民税の超過課税（水源環境保全税）などを活用した私有林の公的管理や支援などを行い、水源かん養機能の高い森林としての保全・再生を図り、良質な水の安定的確保につなげていきます。



4. 県総合リハビリテーションセンターの再整備

県総合リハビリテーションセンターは、民間病院では受入れ困難な脊髄障害や高次脳機能障害の患者などへの対応、リハビリテーションの県の拠点施設としての役割が求められていることなどを踏まえて再整備（2016年度開業予定）を行い、県立施設として高い専門性を持った医療・福祉サービスを提供するとともに地域における支援機能の強化を図っていきます。



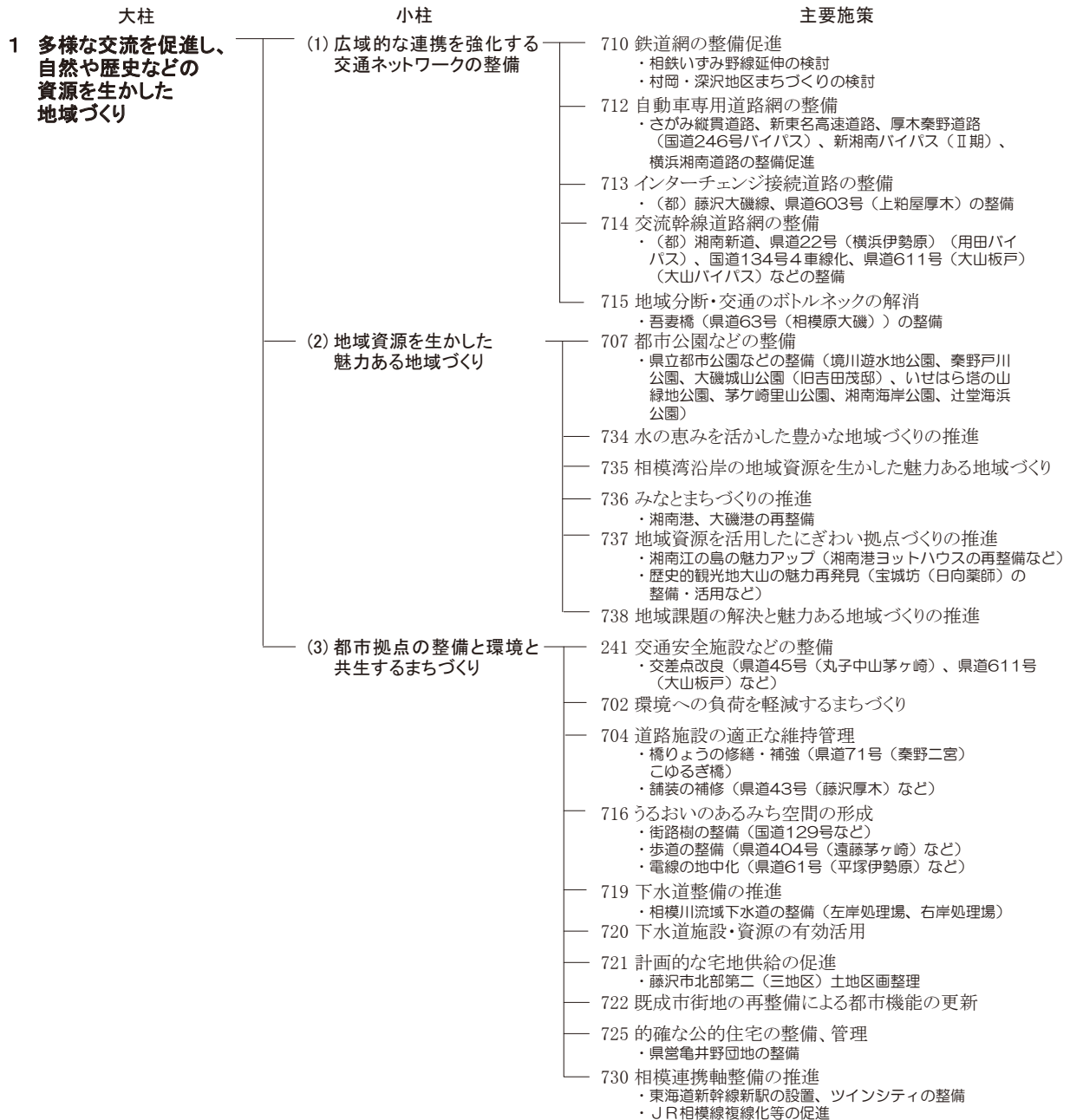
湘南地域圏

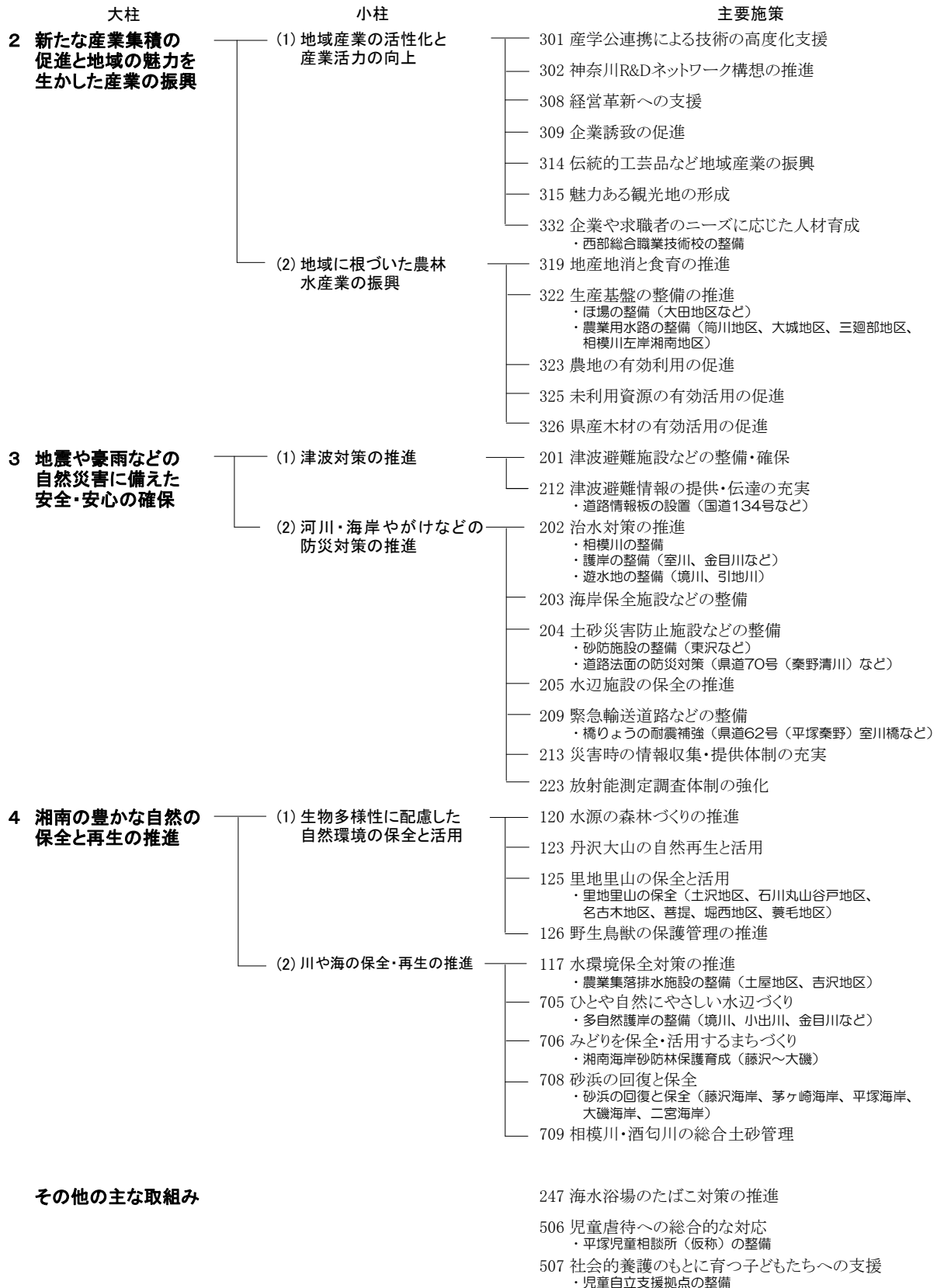
湘南地域は、海岸や丹沢大山などの自然に恵まれ、文化の薫り高く、商・工・農・住・学・遊など多様な活動が展開される活力に富む地域です。

そこで、豊かな自然や、この地域で育まれた文化の保全や活用を図るとともに、交通ネットワークの整備とあわせた都市機能の向上や産業拠点の整備・再生を進め、環境と共生し、豊かで活力にあふれた地域づくりをめざして、鉄道網の整備促進、地域の特性を生かした産業の振興、津波や治水などの防災対策の推進、砂浜の回復と保全などに取り組みます。



施策体系表





主 な 事 業

1. 県道22号（横浜伊勢原）（用田バイパス）の整備

湘南地域の内陸部においては、東西方向の幹線道路が少なく、幅員も狭いことから、朝夕の交通渋滞も著しく、社会経済活動に支障をきたしています。

そこで、県道22号については、現在の道路に並行して、4車線道路を整備して、渋滞解消を図るとともに、歩行者・自転車の安全を確保し、利便性が高く快適な道路網の形成を進めます。



2. ツインシティの整備と東海道新幹線新駅の設定

再生可能エネルギーの導入など、環境共生モデル都市ツインシティを整備することで、魅力あるまちづくりを推進するとともに、全国や首都圏との交流連携の窓口となる東海道新幹線新駅を設置し、地域全体の活性化を図ります。



3. 西部総合職業技術校の整備

企業の人材ニーズや求職者の訓練ニーズに的確に応えた職業能力開発を推進するため、県西部（秦野市）に大規模・総合型の西部総合職業技術校を整備し、2013年4月の開校後は、工業技術・建築技術・社会サービスの各分野の職業訓練を実施するほか、地域の小・中・高等学校のキャリア教育支援にも取り組みます。



4. 丹沢大山の自然再生

豊かな自然環境を有する丹沢大山では、近年ニホンジカの高密度化などによる下層植生の衰退や土壌流出などの影響により、自然環境の劣化が続いています。

そこで、ニホンジカの保護管理や土壌流出対策、丹沢大山のブナ林が衰退する仕組みの研究、登山道整備、ヤマビル対策、さらにはゴミ対策などを進めることで、丹沢大山における自然の再生を図っていきます。



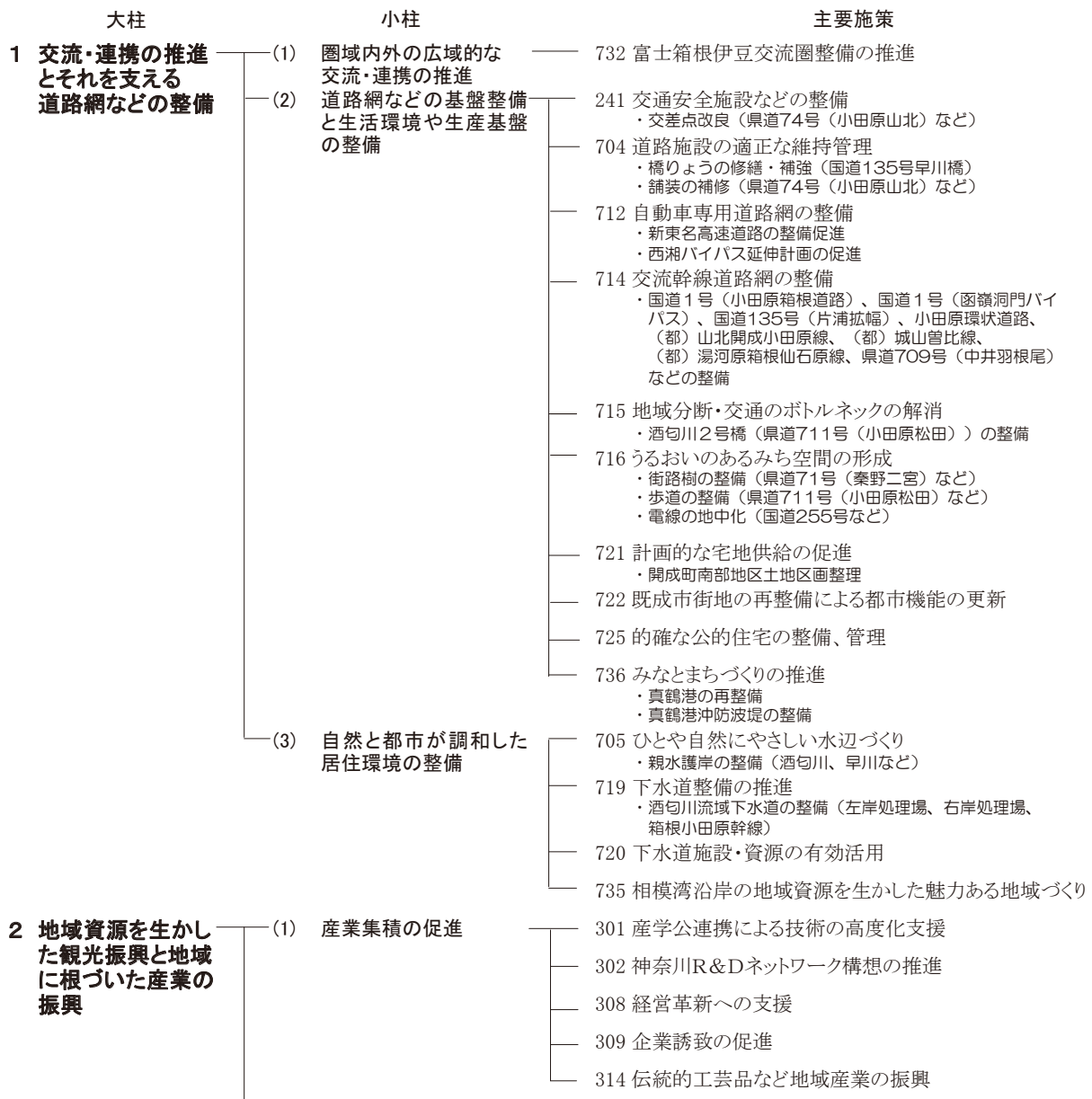
県西地域圏

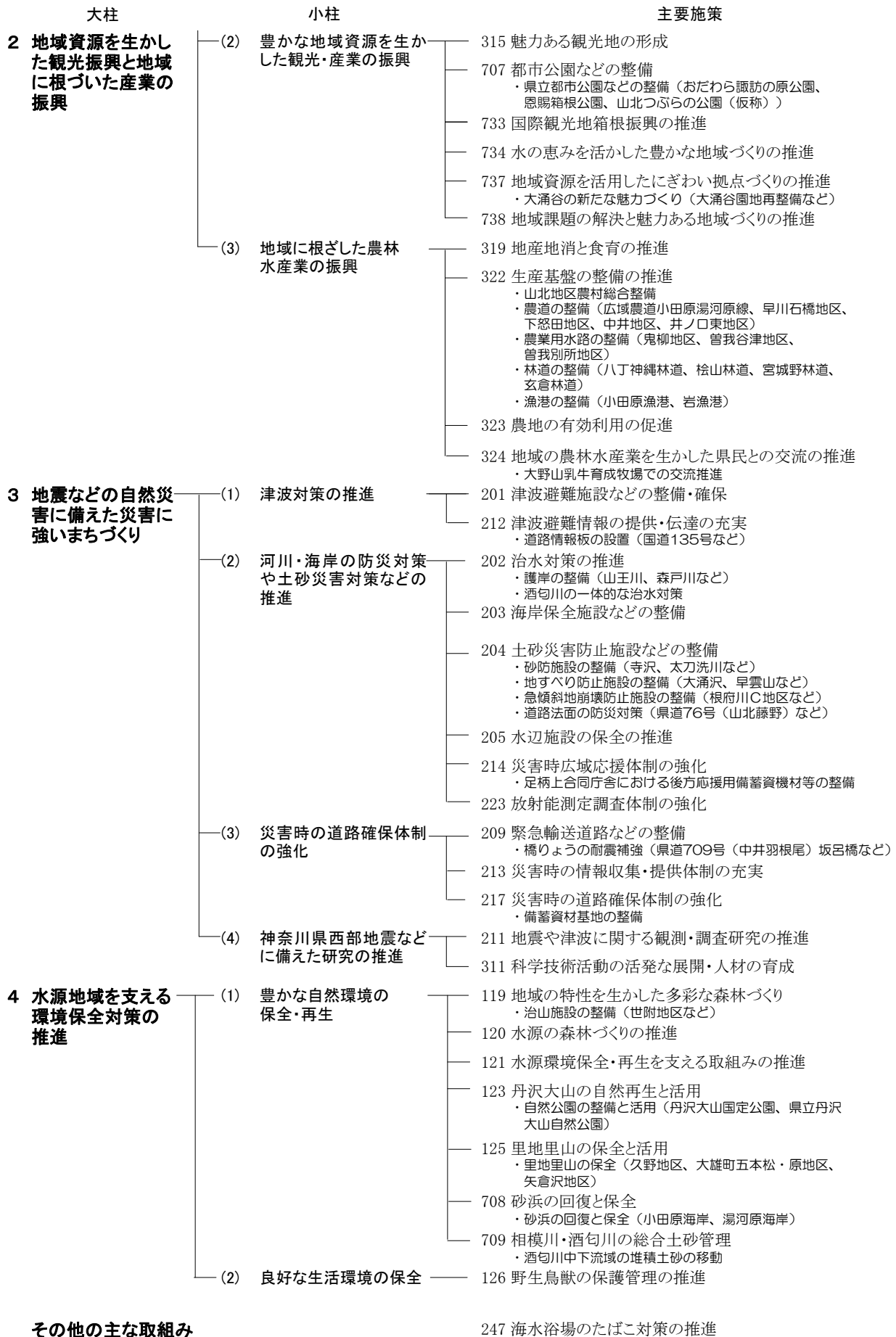
県西地域は、富士・箱根・伊豆に連なる豊かな自然を背景に、歴史や文化などの地域資源に恵まれ、一体的な生活圏を形成してきた地域です。

そこで、豊かな自然や歴史文化などの地域資源を生かし、国内外から来訪する多くの人々の多様なニーズに応えるとともに、地域の特性を生かした様々な生産活動が営まれ、職・住・遊が一体となって豊かなくらしを実感できる、活力と魅力あふれる地域づくりをめざして、富士箱根伊豆交流圏整備の推進、国際観光地箱根振興の推進、海岸保全施設の整備、里地里山の保全と活用などに取り組みます。



施策体系表





地域図



【凡例】

- 事業箇所・内容
- 道路等整備
- 計画路線
- 道路
- 鉄道

主 な 事 業

1. 酒匂川2号橋の整備

酒匂川を渡る橋りょうは、地域の発展に伴う交通量増加のため、慢性的な交通渋滞が発生しており、周辺地域の産業活動などに支障をきたしています。

そこで、酒匂川2号橋を新たに整備することにより、酒匂川による地域分断・交通ボトルネックを解消し、交通利便性の向上を図るとともに、県西地域における交流連携の強化や地域経済の活性化に寄与します。



2. 都市公園の整備

県西地域は、豊かな自然や地域に根ざした生活文化が織りなす四季折々の魅力にあふれています。

そこで、こうした魅力を体験し、災害時には必要なオープンスペースとなるよう、おだわら諏訪の原公園や山北つぶらの公園（仮称）などの整備を進め、観光面などでの地域活性化や県民の安全・安心などに寄与することをめざします。



3. 産業集積の促進

県内産業の活性化と雇用の創出をめざし、県内への企業誘致や既存企業の投資を促進することにより、本県への産業集積の促進に取り組んできました。

県西地域においても、工場・研究所など、企業誘致の促進に取り組んでおり、誘致した企業周辺地域では、道路整備など地域活性化に寄与する取組みも進められています。



4. 「箱根ジオパーク構想」の推進

箱根火山及びその周辺地域は、地質資源をはじめ、歴史的、文化的、生態学的資源など特色ある地域資源を数多く有する魅力をもった地域です。

そこで、こうした資源を維持保全するとともに、その価値を高め、観光や地域振興などを図っていくことを目的とする「箱根ジオパーク構想」を民間、団体、行政が協働・連携して推進します。



